

提 言 書

～平成31年度予算編成に向けて～

平成30年10月

大津市議会

本市議会は、下記のとおり行政評価を実施した 14 事業について、大津市議会基本条例（平成 27 年条例第 47 号）第 17 条第 1 項の規定に基づき、提言します。

記

1. 「議会における行政評価」の目的

執行部の行政評価を検証・調査し、当該行政評価を執行部と違った視点で広く評価・検証することで、議会としての監視機能を発揮するとともに、この評価・検証を議会として決算や予算に反映し、更には新たな施策等につなげることで議事機関としての役割を果たす。

2. 評価の実施主体

決算常任委員会

3. 評価の実施手法

執行部が評価を実施した 449 事業から 14 事業を抽出し、評価を実施

4. 評価結果及び提言

次ページの一覧及び各評価シートのとおり

【評価結果一覧】

	事業名	今後の方向性	頁
1	男女共同参画推進事業	4 見直しの上で継続する。 (事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)	3
2	緊急防災対策推進事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	4
3	公共施設マネジメント推進事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	5
4	いじめ対策推進事業	4 見直しの上で継続する。 (事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)	6
5	放課後児童健全育成事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	7
6	高齢者健康生きがい施設管理事業	4 見直しの上で継続する。 (事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)	8
7	雇用対策事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	9
8	国際親善協会組織強化事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	10
9	屋外広告物景観推進事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	11
10	公共輸送対策推進事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	12
11	市道路線管理事業	1 拡充する。(全般的)	13
12	いじめ対策充実事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	14
13	成人式開催事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	15
14	自主防災組織等育成事業	2 見直しの上で継続する (事業の部分的な拡充・重点化等)	16

分科会名	決算常任委員会 総務分科会
------	---------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
13	男女共同参画推進事業	人権・男女共同参画課	25

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	津田	草川	伊藤	改田	川口	佐藤	武田	谷	林	伴
		(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である								
	B ほぼ妥当である	○		○		○		○	○		○
	C あまり妥当でない		○		○		○			○	
	D 妥当ではない										

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている										
	B やや上がっている			○				○			
	C あまり上がっていない	○	○		○		○		○	○	○
	D 上がっていない					○					

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い										
	B やや高い			○				○			
	C やや低い	○	○		○	○	○		○	○	○
	D 低い										

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当										
	B 事業の進め方に改善が必要	○	○	○		○		○			
	C 事業規模や見直しが必要				○		○		○		○
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要										○

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
4	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の充実や継続の必要性については一定理解できるが、もう少し広い視野で事業の方向性を見直すべきである。 ・女性活躍として起業の促進など一部に視点が傾注されすぎている感が否めない。よって、手段の改善や見直しが必要である。 ・女性も男性も働きやすいバランスの取れた職場という視点から、男女共同参画の実現を目指すのであれば、まず全体的な意識改革に重点を置いた施策を進めるべきである。 ・講演中心方式の市民フォーラムを見直し、広く市民との意見交換ができるように検討すべきである。 ・くるみ認定取得の促進にあたっては、産業観光部との連携を一層図るべきと考える。 ・「Otsuプロジェクト-W」の参加者が伸び悩んでおり、全体的な底上げが必要である。

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 総務分科会
------	---------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
18	緊急防災対策推進事業	危機・防災対策課	35

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	津田	草川	伊藤	改田	川口	佐藤	武田	谷	林	伴
		(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	B ほぼ妥当である			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	C あまり妥当でない										
	D 妥当ではない										

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている										
	B やや上がっている		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>						
	C あまり上がっていない	<input type="radio"/>								<input type="radio"/>	
	D 上がっていない										

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い										
	B やや高い		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	C やや低い	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	D 低い										

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当										
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>									
	C 事業規模や見直しが必要										
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要										

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点(基準)に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他(代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・防災士の養成に向け、若い世代や女性に対する意識啓発が必要であることから、先進自治体の事例も研究し、充実・改善に取り組むべきである。 ・地域における防災士と防災組織との関係に一定のルールを設けるなど、防災士が地域で活躍できるための位置付けに向けた取り組みが必要である。 ・防災リーダーとして活躍できる人材の育成に向け、防災士の質やモチベーションの向上を図っていく必要がある。 ・各学区において、実際に活動していただける人員数を把握したうえで、活動指標の目標値を掲げるべきである。

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 総務分科会
------	---------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
27	公共施設マネジメント推進事業	公共施設マネジメント推進課	53

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	津田	草川	伊藤	改田	川口	佐藤	武田	谷	林	伴
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
	B ほぼ妥当である		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	C あまり妥当でない							<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	D 妥当ではない										

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている										
	B やや上がっている	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>							
	C あまり上がっていない		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
	D 上がっていない									<input type="radio"/>	

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い										
	B やや高い			<input type="radio"/>							<input type="radio"/>
	C やや低い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>						
	D 低い										<input type="radio"/>

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当										
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	C 事業規模や見直しが必要				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要										

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点(基準)に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他(代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設は、地域の意見をよく聞きながら、地域住民と一緒に考えていく仕組みづくりが必要である。 ・人口規模や年齢層等に関わらず、地域の実情に応じた公共施設のマネジメントが必要である。 ・延床面積の削減が優先されていることから、今後必要となる施設の新築や既存施設の改築も併せたマネジメントを進めるべきである。 ・持続可能なまちづくりのためには、地域特性を踏まえた形で公共施設のマネジメントを進める必要がある。 ・公共施設の集約については、長期的な展望に立って進めていくべきである。

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 生活産業分科会
------	-----------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
55	いじめ対策推進事業	いじめ対策推進室	109

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	近藤	清水	河村	岸本	杉山	鷺見	竹内基	仲野	藤井
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>								
	B ほぼ妥当である	<input type="radio"/>								
	C あまり妥当でない	<input type="radio"/>								
	D 妥当ではない	<input type="radio"/>								

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている	<input type="radio"/>								
	B やや上がっている	<input type="radio"/>								
	C あまり上がっていない	<input type="radio"/>								
	D 上がっていない	<input type="radio"/>								

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い	<input type="radio"/>								
	B やや高い	<input type="radio"/>								
	C やや低い	<input type="radio"/>								
	D 低い	<input type="radio"/>								

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当	<input type="radio"/>								
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>								
	C 事業規模や見直しが必要	<input type="radio"/>								
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要	<input type="radio"/>								

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点(基準)に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
4	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他(代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<p>本市のいじめ対策に関する経緯を考えれば、市民部が本事業を推進していることについては、一定の評価をするものである。しかしながら、いじめが発生しているのは主に学校現場で、本来は教育委員会が主体となって事業を推進していくべきであり、教育委員会と密に連携をとりながら、事業を推進することが必要不可欠である。また、今後は本事業の拡大ではなく、スクールソーシャルワーカーの増員等いじめの温床を断つような手立ての拡充が必須であることから、教育委員会や関係部局と調整の上事業を見直し、合理化、簡素化していく必要があると考える。</p>

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 教育厚生分科会
------	-----------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
140	放課後児童健全育成事業	児童クラブ課	279

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	幸光	青山	石黒	嘉田	草野	竹内照	立道	濱奥	山本
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>								
	B ほぼ妥当である								<input type="radio"/>	
	C あまり妥当でない									
	D 妥当ではない									

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている			<input type="radio"/>						
	B やや上がっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							<input type="radio"/>
	C あまり上がっていない									
	D 上がっていない									

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	B やや高い					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
	C やや低い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>		
	D 低い									

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	C 事業規模や見直しが必要									
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要									

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<p>児童クラブへの入所希望者が増加する中、対応いただいていることは評価する。一方で大津市の独自の取り組みとして夏休み等の長期休暇限定の入所があるが、需要が増える時期の具体的な対応策、例えば児童クラブの面積を子ども一人当たりで見ると狭隘な環境であることから面積の拡充を図る策が必要である。その解決を図る手段の一つとして、子どもの健全育成を念頭に考え、公営で出来るだけ充実を図りつつ、足りない部分を民間の児童クラブを積極的に活用することで指導員の確保や、児童クラブに対応する施設を増やしていくべきである。また、既存の入所児童と短期入所児童との間でトラブルが発生する可能性があるが、そういったトラブルに対応出来るような仕組みを構築する必要がある。</p>

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 教育厚生分科会
------	-----------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
145	高齢者健康生きがい施設管理事業	長寿政策課	289

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	幸光	青山	石黒	嘉田	草野	竹内照	立道	濱奥	山本
		(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である				○			
	B ほぼ妥当である	○	○	○			○	○	○	○
	C あまり妥当でない					○				
	D 妥当ではない									

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている				○					
	B やや上がっている		○	○			○	○	○	○
	C あまり上がっていない	○				○				
	D 上がっていない									

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い									
	B やや高い		○	○	○		○	○	○	○
	C やや低い	○				○				
	D 低い									

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当									
	B 事業の進め方に改善が必要		○	○			○	○	○	
	C 事業規模や見直しが必要	○			○	○				
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要									○

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
4	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
6施設それぞれ事情はあるが、老人憩いの家の入浴事業のように、各家庭に浴室が整備されていなかった時代は利用者が多く意義があったが、近年は利用者が大きく減少しているなど、時代の変化により老人憩いの家の役割を終えつつあるという執行部の評価は妥当であるとする。一方で、介護予防や高齢者の心身の健康促進と生きがいの充実のための施設としては必要であるので、地域の実情に合わせた事業の改善策を立て、利用者が増えるよう取り組んでいかなければならない。

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 生活産業分科会
------	-----------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
250	雇用対策事業	商工労働政策課	499

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	近藤	清水	河村	岸本	杉山	鷺見	竹内基	仲野	藤井
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>								
	B ほぼ妥当である	<input type="radio"/>								
	C あまり妥当でない	<input type="radio"/>								
	D 妥当ではない	<input type="radio"/>								

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている	<input type="radio"/>								
	B やや上がっている	<input type="radio"/>								
	C あまり上がっていない	<input type="radio"/>								
	D 上がっていない	<input type="radio"/>								

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い	<input type="radio"/>								
	B やや高い	<input type="radio"/>								
	C やや低い	<input type="radio"/>								
	D 低い	<input type="radio"/>								

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当	<input type="radio"/>								
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>								
	C 事業規模や見直しが必要	<input type="radio"/>								
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要	<input type="radio"/>								

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<p>本事業については、移動労働相談による幅広い世代への就労紹介や就職フェアの開催による人材確保の場を創出している等、本市が主体となって事業を進めていくことについて妥当性がある。ただし、本事業を推進するにあたっては、開催時期や回数、場所、社会的弱者を対象とする等の公共事業としての特性を生かして関係部局と連携した展開が必要と考える。また、本事業の見直しに当たっては、社会情勢や参加企業を分析し、対象者が求めている情報を提供出来ているかや市内中小企業への就職にどれだけ結びついているか検証が必要である。</p>

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 生活産業分科会
------	-----------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
267	国際親善協会組織強化事業	インバウンド・国際交流室	533

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	近藤	清水	河村	岸本	杉山	鷺見	竹内基	仲野	藤井
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である									
	B ほぼ妥当である	○	○		○	○	○	○	○	○
	C あまり妥当でない									
	D 妥当ではない			○						

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている									
	B やや上がっている	○	○		○	○	○	○	○	○
	C あまり上がっていない			○						
	D 上がっていない									

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い									
	B やや高い	○	○		○	○	○	○	○	○
	C やや低い			○						
	D 低い									

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当									
	B 事業の進め方に改善が必要	○	○		○	○	○	○	○	○
	C 事業規模や見直しが必要									
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要			○						

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点(基準)に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他(代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<p>公益財団法人天津市国際親善協会については、これまで市民主体の国際交流、国際協力活動等の推進に大きな役割を果たしており、今後もその役割を全う出来るよう本市が運営について支援を行うことは妥当と考える。しかし、国際親善協会の行う事業内容については、社会情勢の変化を考慮し市民ニーズに合致する事業の展開や必要不可欠な本市との連携のあり方を見直す必要がある。さらに、現在は主に補助金による運営の支援を行っているが、市長の協会行事への積極的な参加や活動についての市民への周知、新規ボランティア会員の開拓、協会の自立性を高めるための自主財源確保に係る支援など、直接的な金銭支援以外の運営支援を拡充すべきと考える。また、本事業については「地域の国際化と市民の多文化に対する理解の促進を図る」ことが目的であることから、現在の事業名では目的が伝わりにくく、適正な事業名に改めるべきである。</p>

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 施設分科会
------	---------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
316	屋外広告物景観推進事業	まちづくり計画課	631

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	奥村	杉浦	北村	桐田	高橋	西村	八田	船本
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である		○						
	B ほぼ妥当である	○		○		○	○	○	○
	C あまり妥当でない				○				
	D 妥当ではない								

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている		○	○					
	B やや上がっている	○				○			○
	C あまり上がっていない				○		○	○	
	D 上がっていない								

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い		○						
	B やや高い	○		○		○		○	○
	C やや低い				○		○		
	D 低い								

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当			○					
	B 事業の進め方に改善が必要	○			○	○	○	○	○
	C 事業規模や見直しが必要		○						
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要								

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<p>・エリアによって違反広告物が増加している地域が存在するため、市民ボランティア活動やパトロールを強化する必要がある。</p> <p>・屋外広告物への規制について、景観への配慮のみならず人権等の総合的な判断が求められる。そのため、規制のあり方について地域や市民が考える枠組みが必要である。</p>

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 施設分科会
------	---------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
324	公共輸送対策推進事業	交通戦略室	647

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	奥村	杉浦	北村	桐田	高橋	西村	八田	船本
		(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	B ほぼ妥当である	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>
	C あまり妥当でない				<input type="radio"/>				
	D 妥当ではない								

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている								
	B やや上がっている			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	C あまり上がっていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	D 上がっていない								

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い						<input type="radio"/>		
	B やや高い			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	C やや低い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
	D 低い								

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						<input type="radio"/>
	C 事業規模や見直しが必要				<input type="radio"/>				
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要								

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの取り組みについては評価をしているが、認知度を向上させる必要がある。 ・地域ごとに必要な公共輸送対策は異なるため、市内一律ではない対策を考える必要がある。 ・市、地域、事業者の三者協働で事業を進める必要がある。 ・今後、高齢者が個人で安心して移動できるような仕組みを作る必要がある。そのためには、ライドシェアの安易な導入を行わず、十分な検証を求める。

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 施設分科会
------	---------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
348	市道路線管理事業	道路・河川管理課	695

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	奥村	杉浦	北村	桐田	高橋	西村	八田	船本
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	B ほぼ妥当である		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
	C あまり妥当でない			<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	D 妥当ではない								

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている					<input type="radio"/>			
	B やや上がっている		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	C あまり上がっていない	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	D 上がっていない								

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	B やや高い			<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	C やや低い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						<input type="radio"/>
	D 低い				<input type="radio"/>				

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
	C 事業規模や見直しが必要							<input type="radio"/>	
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要								

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
1	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員の日頃の業務は評価しているが、道路管理瑕疵による損害賠償請求事案が生じている。市民が安心して道路を利用するためには、人員や予算の拡充が必要である。 ・現在は事後保全であるが、今後は予防保全に努める必要がある。また最新技術の研究など不断の研鑽を求める。 ・南北に細長い市域のパトロールを効率的に行うためには、本庁からの移動に要する時間を考慮したエリア拠点の設置や、民間の活力導入などを進める必要がある。

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 教育厚生分科会
------	-----------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
386	いじめ対策充実事業	児童生徒支援課	771

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	幸光	青山	石黒	嘉田	草野	竹内照	立道	濱奥	山本
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である				○	○				○
	B ほぼ妥当である	○	○	○			○	○	○	
	C あまり妥当でない									
	D 妥当ではない									

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている				○					○
	B やや上がっている	○	○	○			○	○	○	
	C あまり上がっていない					○				
	D 上がっていない									

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い				○					○
	B やや高い	○	○			○	○		○	
	C やや低い			○				○		
	D 低い									

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当		○		○					
	B 事業の進め方に改善が必要	○		○		○	○	○	○	○
	C 事業規模や見直しが必要									
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要									

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<p>近年いじめ認知件数が増え、特に大規模校で現場が対応しきれず、関係職員が疲弊している事情がある。体制改善を早期にすべきであり、スクールソーシャルワーカーのみならず、外部の専門家派遣を増やし支える仕組みが必要である。また、教育委員会と市民部の連携が重要であり、いじめ対策の実施手法について整理した上で、しっかりと連携がとれるよう見直しをしていく必要がある。</p>

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 教育厚生分科会
------	-----------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
403	成人式開催事業	生涯学習課	805

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	幸光	青山	石黒	嘉田	草野	竹内照	立道	濱奥	山本
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>								
	B ほぼ妥当である									<input type="radio"/>
	C あまり妥当でない									
	D 妥当ではない									

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	B やや上がっている			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	C あまり上がっていない									
	D 上がっていない									

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	B やや高い			<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	C やや低い									
	D 低い									

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当									
	B 事業の進め方に改善が必要	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
	C 事業規模や見直しが必要				<input type="radio"/>					
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要									

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点（基準）に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他 (代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<p>近年、市の実行委員会に新成人が加入し、主役である新成人の意見を生かした形で事業を実施する手法については一定評価をするが、本来の事業目的が達成できているかという事については課題が残る。加えて、近年成人式のあり方が大きく問われる事態が市でも発生していることに鑑み、新成人の飲酒への対応や、来場者への安全対策は改善が求められる。</p>

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

分科会名	決算常任委員会 総務分科会
------	---------------

整理番号	事業名	担当課	報告書頁
437	自主防災組織等育成事業	予防課	873

1 項目別評価 (参考)

評価項目	評価	津田	草川	伊藤	改田	川口	佐藤	武田	谷	林	伴
(1) 妥当性 <small>(実施主体又は手段は妥当か)</small>	A 妥当である	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	B ほぼ妥当である		<input type="radio"/>								
	C あまり妥当でない			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	D 妥当ではない										

(2) 有効性 <small>(事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)</small>	A 上がっている	<input type="radio"/>									<input type="radio"/>
	B やや上がっている		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	C あまり上がっていない			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	D 上がっていない										

(3) 効率性 <small>(事業手法は効率的であるか)</small>	A 高い	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>					
	B やや高い							<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	C やや低い		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	D 低い										

(4) 総合評価 <small>(3つの評価を踏まえ、当年度の事業結果について総合的な視点から評価)</small>	A 計画どおり事業を進めることが適当	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>					<input type="radio"/>
	B 事業の進め方に改善が必要		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	C 事業規模や見直しが必要			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>				
	D 事業の抜本的見直しや廃止が必要										<input type="radio"/>

※項目別評価については、市の行政評価報告書に示されている評価の視点(基準)に基づき、評価する。

2 今後の方向性

評価	評価基準
2	1 拡充する。(全般的)
	2 見直しの上で継続する。(事業の部分的な拡充・重点化等)
	3 現状のまま継続する。
	4 見直しの上で継続する。(事業の部分的な改善・縮小・簡素化等)
	5 縮小する。(全般的)
	6 廃止又は終了する。
	7 その他(代替事業の提案や他の事業との整理・統合など)

※今後の方向性については、1の項目別評価を参考に、「市民福祉向上」の観点から事業の今後の方向性を評価する。

評価理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の運営については学区により温度差があり、ボトムアップが必要であることから、補助金の交付及び訓練指導等については、拡充しながら進めていくべきと考える。 ・防災資機材については、地域のニーズを把握し、その実情に見合った予算額と補助内容に見直す必要がある。 ・地域の防災力の向上のため、学区の消防団や各種団体との横断的な取り組みを図っていく必要がある。 ・地区防災計画の具現化に向けて、学区自主防災会と地域自主防災会・地域住民との連携体制を強化・構築していく必要がある。

※評価理由等については、評価の一致・不一致に関わらず、分科会が当該評価に至った経緯として記載すべきと判断した意見や理由などを記載する。

